



ほほえみ 第105号

今年は冷夏の予想でしたが、最近の暑さは猛暑だった昨年の暑さを思わせませす。皆様、夏バテされていないでしょうか。ウナギというより、そうめんやかき氷が食べたいような暑さです。このところ、仕事を立て込んでいて、ほほえみ105号の発行も遅れてしまい申し訳ありませんでした。こまめに水分をとって、涼しくお過ごしください。

正義とケイパビリティ

昨年の11月に、このニュースレターで「ケアの倫理」に関して取り上げました。その後も、ケアの倫理に関わる本を何冊か読みました。その結果、わかってきたことは、ケアの倫理は、現代の正義論においての重要な問題の一つであるということです。大きな正義の問題は三つあります。

- ① 器質的損傷、障害者に対する正義
- ② 富んだ国、貧困な国などの不平等に対する国際的な正義
- ③ 人間以外の種に対する正義

の三つです。①は、身体や認知機能に障害があると、他者のケアの対象とならざるを得ない反面、社会的には貢献できることが限られるため、社会契約のような考え方だと排除されかねないことを言います。②では、生まれついた国の状況によって、個人の権利が保たれる国と、そうでない国の差が大きいことや、この格差を埋めるような働きが限定されていることを示します。③の種の問題は、生命としてヒトと他の種の差がどこにあるのかという議論、同じ生命として尊重されるべきではないかという議論です。いずれも正義論の難問とされています。この場合の正義論としては、もっとも近代的な正義論である、ロールズ正義論が取り上げられることが多いです。①の視点からのロールズの正義論批判が、ケアの倫理となります。

ロールズの正義論は、社会の成り立ちを、成立の時点の契約として考察するものです。しかし、この議論の出発点では、契約が成立する集団内でしか議論できないのです。この問題点を解決する思考として、アマルティア・センという、ノーベル経済学賞を受賞した経済学者がいるのですが、ケイパビリティの議論を展開しています。これは、社会契約を結んだ者が、その帰結として社会に寄与するという考えとは逆向きです。

ケイパビリティとは、潜在能力、可能性、可能能力などと訳されているものですが、個人、社会の健全さ・目的として何を行うのが良いかを示すものです。

ここまでの議論は、広く社会に関して行われてきたものなのですが、がん診療に関して考えてみると、契約的な考え方より、その方の潜在能力を保持する、伸ばすというケイパビリティの考え方が、上手く当てはまるようにも思えます。今、取り組んでいる、医療分野での意思決定の将来的な視線の先には、ケイパビリティの議論が不可欠になるのではないかと、そういう印象で捉えています。



アマルティア・セン博士 (wikipediaより)

第17回 日本臨床腫瘍学会

7月18日から20日に、京都市で第17回日本臨床腫瘍学会が開催されました。今年のテーマは、「がんゲノム診療 元年」というもので、年号も改まりましたが、それになぞらえたテーマでした。京都開催ということもあるかもしれませんが、海外からの参加者も増えているようでした。

初日のセッションを聞いてきたのですが、免疫チェックポイント阻害剤や、ゲノム診療といったテーマに多くの聴衆が集まるという傾向のようでした。私が座長をしたセッションも、胃がんの免疫チェックポイント阻害剤に関するものでしたが、議論は活発であったと思います。

ただ、真夏の学会は非常に体力を消耗するので、行かざるを得ないことがなければご遠慮したいところでもありますね。

伏見稲荷大社に参詣しました

今回の学会出張も、京都に前日の夜について、翌日の夜に盛岡に帰るとい弾丸旅行でした。京都駅に隣接したホテルに泊まっていたので、学会に出席する早朝に、奈良線で2駅の伏見稲荷大社に参詣してきました。小雨交じりの早朝でしたが、海外からの観光客もちらほらあるくらい、インスタ映えする有名な観光スポットです。皆様の治療効果が上がることも含めて、お参りをしてきました。

千本鳥居を抜けたあと少し散策しましたが、「おもかる石」というものがあって、願いがかなうか占うものだそうです。軽いと早く適う、重いと叶うのに時間がかかるそうです。普段から、庭の石を掘りだしたりしているからか、願いの重さを持つ前に思い返したからかわかりませんが、軽く感じました。

早朝でしたが、ホテルに帰る時間帯は、すでにラッシュアワーとなりつつあり、東京以上の電車のぎゅうぎゅう詰め状態で驚きました。



灯籠の上の丸い石がおもかる石です。

MEMO

8月のがん化学療法科の予定

8月2日	さんさ踊り(当院参加)
8月6日	診療応援(平出先生)
8月12日	山の日
8月13日	診療応援(平出先生)
8月16、19日	休診します
8月20日	診療応援(平出先生)
8月23日	新渡戸稲造記念メディカル・カフェ
8月27日	診療応援(工藤先生)

